

特定ラジオマイクの高度化に向けた技術的条件についての意見陳述募集結果

意見募集期間：平成 20 年 4 月 4 日～平成 20 年 4 月 26 日

意見提出者	提出意見概要
ゼネラル通商株式会社	<p>ラジオマイク送信機の制御を固定側から電波を使用して出来る様にして頂きたいと考えます。</p> <p>演劇やミュージカルなどでは多数の送信機を使用します。(マルチチャンネルオペレーション)この場合、送信機の位置により受信アンテナへ届く電波の強さに大きな差が生じます。この差により、受信アンテナから距離の遠い送信機の電波は弱くなり、受信アンテナから距離の近い送信機同士が起こすインターモジュレーションに妨害され受信が不能になる事が考えられます。</p> <p>これを防止するために固定側から電波の強い送信機(受信アンテナから距離が近い)の送信出力を適正なレベルに下げる、また逆に電波の弱い送信機の出力を上げるなど(勿論、規定以内)の制御を自動で行い、それぞれの送信機と受信アンテナの距離が違ってても、受信レベルを均一化することで安定した運用が可能になると考えます。</p> <p>デジタル化したラジオマイクは同一周波数においてDU比が20dB以上あれば目的波は妨害波の影響は受けませんが、実際のステージでは、演目により、インターモジュレーションのレベルと目的波とのDU比は20dBを確保することが出来ない状況が生じる可能性があります。</p> <p>この問題を解決する為に、送信出力の制御が必要になると考えます。また、送信機の音声レベルの制御や送信のオン/オフなどの制御、音声データ量の制御により使用できるチャンネル数の増減など送信機を制御することによって色々な応用が考えられます。現時点では技術的にどのレベルまで実現する事が出来るのかは分かりませんが、近い将来実現の可能性があると考えます。</p> <p>是非、送信機の制御が出来る様にする事を今回の改正に盛り込んで頂きたくここに意見書を提出致します。</p>